

花咲く名水の地を往く

～甲斐駒ヶ岳広域農道～

甲斐駒ヶ岳広域農道は、韮崎市から北杜市にかけて広がる甲斐駒ヶ岳山麓の農業地帯と中央自動車道や国道20号といった幹線道路へのアクセスの改善等を目的として建設されました。この農道の開通により、県内のみならず首都圏等の大規模消費地への農産物の輸送が容易になるとともに、沿線の農地の利便性が向上しました。

この地域は南アルプスの山々に育まれた清麗な水に恵まれており農業に適した土地であることから、古くから水稻が盛んに栽培され現在でもブランド米である「梨北米」の産地の一角をなしています。また沿線の農地の整備も積極的に行われており、広域農道の開通と相まって企業による農業への参入も盛んになっています。今回は農道沿線の様子とともに、近隣にある「道の駅はくしゅう」についても紹介します。



さねはら
真原桜並木



山高神代桜

農道の沿線には山高神代桜(写真左)、真原桜並木(写真右)の2か所の桜の名所があり、春にはそれぞれ美しい花を咲かせます。前者は推定樹齢2,000年ともいわれるエドヒガンザクラで、日本三大桜の一つに数えられています。後者は約750mにわたる桜並木で、道の両側に200本ものソメイヨシノが植えられています。春には桜のトンネルから甲斐駒ヶ岳を望むことができます。



①武川町の水田



②農業法人による営農（葉物野菜）



③農業法人による営農（トマト）



④鳥原平の整備された農地



広域農道の整備により大型車の進入が可能になり、沿道では農業法人による営農が盛んに行われているほか、整備された農地を活用して効率的な営農が行われています。広域農道はこれらの農地からの農産物の集出荷にも活用されています。



ビューポイント②



正面に甲斐駒ヶ岳を望む



ビューポイント④



道の駅はくしゅう

北杜市白州町白須の国道20号沿いにある道の駅で、甲斐駒ヶ岳広域農道から1kmほど離れた場所に位置します。地元で育った新鮮な野菜や各種の産品を販売する直売所が設置されているほか、白州の名水が流れる水汲み場があります。また、道の駅からは甲斐駒ヶ岳の眺望を楽しむことができます。



↑名水の流れる水汲み場